

## 28. 床義歯装着

### <到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従える
- ・ ステップごとに報告できる
- ・ 患者にこれから行うことの説明ができる
- ・ 必要器材を準備できる
- ・ 手順に従ってタイミングよく器材を手渡せる
- ・ 適合試験材を適切に練和できる
- ・ 咬合調整の補助ができる
- ・ 患者に義歯装着後の指導ができる
- ・ 後片付けができる

### <設定場面>

患者は歯周病で下顎大臼歯を喪失し、パーシャルデンチャーを新製することとなった。本日完成した義歯を装着する予定である。

### <診療手順>

#### 1. 患者の誘導と説明

歯科医師：衛生士、助手に今日の治療内容を伝え、患者の誘導と説明を指示する。

助手：患者をチェアに誘導する。必要な器材を準備する。

衛生士：処置内容を説明する。

#### 2. 試適 必要器材：完成した義歯

衛生士：完成した義歯を保管してあった水中から取り出し、術者に渡す。

歯科医師：義歯を患者の口腔内に装着して吸着状態・維持力などを確認する。

#### 3. 義歯床内面と辺縁の診査 必要器材：適合試験材（フィットチェッカー・PIP） 紙練板、スパチュラ、技工用カーバイドバー 義歯床用切削・研磨具

衛生士：義歯床内面を乾燥し、適合試験材を内面に一層塗って術者に渡す。

歯科医師：技師を患者の口腔内に装着し、軽く咬合を指示する。

義歯を取り出し床内面を診査して、あたりがあれば削合調整する。

衛生士：削合調整のための補助を行う。

4. 咬合調整                      必要器材：咬合紙（赤・青）、咬合紙ホルダー、  
咬合調整用切削・研磨具

衛生士：咬合面をスリーウェイシリンジで乾燥しておく。

歯科医師：中心咬合位での咬合状態をマークし、調整を行う。

衛生士：咬合調整の補助を行う。

歯科医師：赤色咬合紙で中心咬合位を、青色咬合紙で側方運動を指示し、咬合干渉を起こす部分をマークし調整する。

5. 義歯装着後の指導              必要器材：手鏡、義歯用歯ブラシ、歯ブラシ、  
パンフレット

衛生士：調整が完了した段階で手鏡を患者に渡し、装着状態を確認してもらう。

歯科医師：衛生士に義歯装着後の指導を指示する。

衛生士：口腔内に入れる方向もよく説明して着脱方法を確認してもらい、チェア上で数回は着脱をくり返してもらう。

残存歯がある場合は、清掃方法について十分に説明しておく。

義歯の清掃方法について説明する。

クラスプ、バーなどについては変形しないような清掃方法についても説明しておく。

床で覆われる粘膜のブラッシングも必要であることも説明する。

義歯は基本的には外して就寝するよう説明する。

助手：後片付けをする。

## 28. 床義歯装着

必要器材

- ①適合試験材（フィットチェッカー・PIP）
- ②紙練板
- ③スパチュラ
- ④技工用カーバイドバー
- ⑤義歯床用切削・研磨具
- ⑥咬合紙（赤・青）
- ⑦咬合紙ホルダー
- ⑧咬合調整用切削・研磨具
- ⑨手鏡
- ⑩義歯用歯ブラシ
- ⑪歯ブラシ
- ⑫パンフレット